

尾州織カバーの御朱印帳を手に
運氣上昇、縁結びのパワースポットをめぐり、
尾州織の工場見学を通して伝統技術を守る職人さんと繋がる、
一宮の文化資産、のこぎり屋根工場カフェでは
マチのヒトとおしゃべり…
ヒトとエンのマチ巡りしてみませんか？



一宮市モニターツアー開催！
「縁結びのストーリーに触れる旅」

参加費
無料

尾州織物の工場見学、旧織機工場リノベーション施設でのランチ、
ラジオドラマにちなんだ場所を訪れる旅に参加しませんか？

参加条件：ツアー内容に関するアンケートへのご協力いただける方

出発日 1/11(水)・1/12(木)・1/16(月)・1/18(水)・1/19(木)
1/23(月)・1/25(水)・1/26(木)・1/28(土)・1/30(月)

参加特典

- 特典① 参加者全員に「オリジナル尾州織御朱印帳カバー」付き
※アンケートにご協力をいただきます。
- 特典② 工場見学体験、尾州織物のハギレ1品付き
- 特典③ 明治時代から続く伝統的な糸紡ぎ「ガラ紡」体験
- 特典④ のこぎり屋根工場のリノベーションカフェでランチ！

ツアーへのお申し込み、お問い合わせ
株式会社マイウエイ TEL(052)232-9111

尾州織で
繋ぐ、結ぶ
ヒトとエン

ヒトとヒトを繋ぐマチ

ICHINOMIYA
Guide book



「世界三大毛織物産地」尾州の織物

こー宮は、イタリアのピエラ、イギリスのハダースフィールドと並ぶ、世界三大毛織物産地のひとつです。

BISHU.

尾州織は、「尾州」(旧尾張国)の主に現在の一宮市を中心とした地域で発展してきた織物のことを指し、その歴史は奈良時代にまでさかのぼり、当時から麻・絹・綿の織物を作っていたと言われています。長い歴史を育んできた尾州織は、国内の毛織物の60%以上がこの地域で生産されており、現在では、イギリスのハダースフィールド、イタリアのピエラとともに、世界三大毛織物産地のひとつと数えられています。

尾州織の特徴は、糸を紡ぐところから織物としての製品を仕上げる工程の一つひとつをこの尾州地域にある多くの企業や職人さんによって分業体制が確立されているところです。糸から生地までのものづくりの全てが一貫で行えることが尾州産地の大きな強みと言われています。



尾州織 御朱印帳カバー

「縁結びのストーリーに触れる旅」
参加者様にお一人様ひとつ付いてます
詳しくは裏表紙へ



いちのみやのラジオドラマ『久遠』放送中

尾州織の縁結び守を主人公が見つけることから始まる、
「尾州織縁結び旅 聖地巡礼 ラジオドラマ『久遠』」を
12月6日(火)~8日(木)の19:30から30分、3夜連続で放送しています。
※放送を聞き逃した方は一宮市民会館ホームページのYouTubeよりお楽しみ頂けます。

あらすじ／主人公の尾藤千歌は中学3年生。憧れの先輩がいる高校へ進学すべく、目下受験勉強中。ある日、母・真奈美の寝室に飾ってあったブライダル写真を落としてしまい、偶然、その額縁の中から「赤い糸」を見つけた。それは服織神社の「縁結び守」であることが判明。ここから千歌の家族や友人知人をまきこみ「縁結び」にまつわるドラマがはじまっていく。

難工事に人柱になった与三兵衛 弔いの地 人柱観音

慶長16年(1612年)夏の出水時に濁流に身を投じて人柱(堤防等工事の完成を祈願して生贄として人が土や水底に埋められること)となつたとされる与三兵衛の霊を鎮めるために建てられました。



〈人柱観音〉一宮市起字本陣山

真清田神社 一宮の最強パワースポット



御朱印

「尾張國一之宮」と「真清田神社」の文字とともにそれぞれの印が押されています。



神水舎

無病息災のご利益があると言われる湧き水と、井戸を覗いて自分の顔を水面に映し家内安全を祈ります。

創建が神武天皇33年(西暦紀元前628年)3月3日とされ、2650年の歴史を有する神社。昔から「尾張國一之宮」として多くの地元の人々から信仰を集めてきました。最近では、「神水舎」や「服織(はとり)神社」、「おもかる石」などパワースポットとしても注目されています。



服織神社

はとりじんじゃ

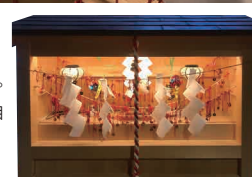
真清田神社の境内にある摂社。

縁結びの神様としてとても人気があります。



縁むすび守

服織神社で人気の「運命之赤糸」という縁結びのお守り。赤い糸が2本ついており、1本は服織神社に、もう1本を自分で持っている、願いごとが叶うとされています。



〒493-0004

愛知県一宮市木曽川町玉ノ井宮前1番地

TEL/ 0586-87-3323

FAX/ 0586-86-6289

営業時間/ 8:00~12:00

13:00~17:00

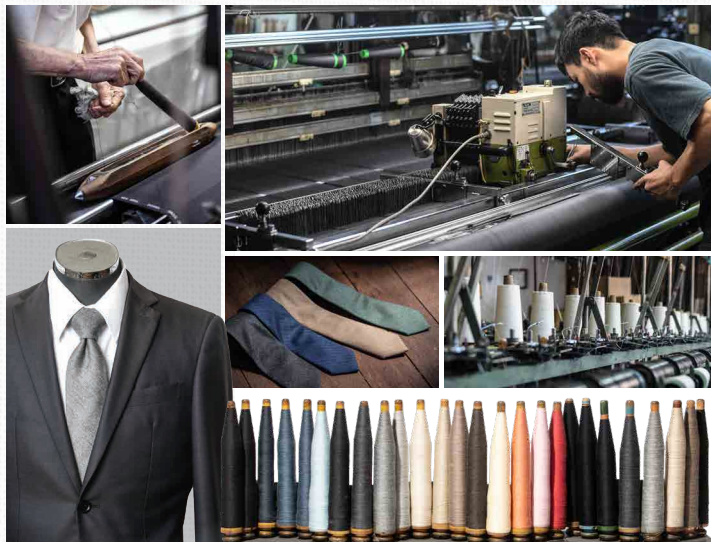
定休日/ 土曜・日曜・祝日



世界中のブランドを虜にする

葛利毛織工業株式会社

毛織物の一大産地「尾州」に、創業110年を迎える老舗の織物工場。この工場では生産される織物は、古くから多くのテーラーが愛用しており、世界的な超有名ブランドの目に留まり、国内外の多くの名だたるブランドを魅了しています。



昭和を感じよう!

国登録有形文化財 葛利毛織工業工場とのかぎり屋根

葛利毛織工業株式会社

建造物/中部/登録有形文化財

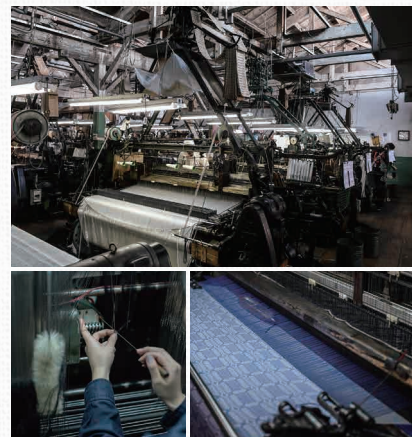
国指定文化財等データベース(文化庁)



昭和7年に建てられ、昭和20年頃と30年代に増築を重ねてきたのかぎり状の屋根を持った建物。この工場とあわせて登録されている、事務所、主屋、離れ、男子寮、旧浴場及び便所、土蔵、原糸倉庫、倉庫の計9棟が、職住一体の経営形態の様子を今に伝えています。

 工場見学をご希望の方はお問合せください。

ここで生産されるウール素材の生地は、今では珍しい「ションヘル織機」と呼ばれる、昭和7年より導入した国産の織機12台を現在でも使い生地を織っています。古い織機で決してスピードがあるわけではないものの、糸の素材や色味、太さ、密度などを正確に計算しながら、手織りの風合いが保たれた高品質の織物を丁寧に仕上げていきます。





<https://kitamaeori.co.jp/>



〒494-0011

愛知県一宮(旧尾西)市西萩原上沼40

TEL/ 0586-68-1131

FAX/ 0586-69-7090

営業時間/ 10:00~17:00

定休日/ 日曜・祝日

※ショールームでお買い物をご希望の際は
予めご予約をお願いします。

木玉毛織株式会社

木玉毛織株式会社は明治28年創業の繊維会社です。
「木玉」というのは初代会長「木全 玉三郎」の名から来ています。

社名に「毛織」とある通り、愛知県は一宮市、ウールの産地尾州にて長年ウールの婦人服地製造に携わって参りましたが、現在は毛織物からは撤退し、15年ほど前から縁あって手掛け出した「ガラ紡(がらぼう)」に全力を傾け、ガラ紡糸の製造・販売を行う小さな小さな会社です。

「ガラ紡」という風前のともしびである日本独自の伝統技術を守りつつ、オーガニックを「当たり前のモノ」という思いを胸に、糸紡ぎから、染、織、縫製に至るまで、作り手の顔の見えるモノづくりを目指しています。

また、敷地内の空きスペースを生かして、繊維の川上から川下までの職種の方々に賃貸し、2021年4月から一般のお客様に向けて有料の工場見学ツアーも始め、一般の方々に、尾州産地の楽しさを伝えて、「尾州を元気にする」を合言葉に活動しております。

木玉毛織では紡績から縫製までの全ての工程を日本国内で行っています



糸を作る



染める



布にする



形を作る



ガラ紡(がらぼう)とは、明治初期に日本で発明された糸を紡ぐ機械の名前です。現在、現役で生産を続けているガラ紡機は、片手で数えられる程の非常に希少価値の高い技術です。



体験してみよう!



木玉毛織の工場見学&ガラ紡体験ツアー

日本一の毛織物産地尾州の織物工場見学と、100年前から続く糸作り「ガラ紡」を体験!

世界三大毛織物産地、尾州ののこぎり屋根の織物工場見学と明治時代から続く伝統的な糸紡ぎ「ガラ紡」を体験していただきます。

日程: 月曜日から土曜日の14:00~15:00

(集合時間: 各日13:50) 1日1回開催(祝日を除く)

参加費(税込)/ 大人2,200円、中学生以下1,100円、3歳以下無料

※お支払いは現地にてお願いします。支払い方法は現金のみとなります。
※13時50分までにお集まりください。

お申し込みはお電話またはこちらから▶



お買い物しよう!

尾州産地直営の洋服店

「新見本工場」



世界的な毛織物産地「尾州」の最高級生地を使用した服を、工場で作りが直接販売をしているショップです。高価な素材を使用した製品を産直価格で買うことができたり、生地が選べるズボンとスカートのカスタムオーダーも行なっています。



所在地/ 木玉毛織株式会社 工場内

電話番号/ 0586-52-7207 営業時間/ 13:00~17:00 定休日/ 火曜・日曜・祝日

運営 / 大鹿株式会社



<http://re-tail.jp>



Re-TaiL
The Textile Building
In The Textile Town.

株式会社リテイル

〒491-0858

愛知県一宮市栄4-5-11

TEL/ 0586-59-2105

営業時間/ 10:00~18:00

定休日/ 月曜(祝日の場合は営業)



Re-TaiL (リテイル)

1933年に「旧・尾西繊維協会ビル」として建てられた繊維関連の企業組合保有のレトロなビル。事務所移転に伴い解体が検討されていたが、「RRR MATERIAL PROJECT」をきっかけに2016年より「リテイル」として再スタート。繊維やデザインなど創造的なテナントの集合体。



お買い物しよう!

アール・マテリアル・プロジェクト

普段は流通しないサンプルやデッドストックなどの素材から、価値あるものをセレクトして展示&販売し、クリエイティブに活かす活動です。



リテイル1階
10:00~18:00
◀@rrr_material

2016年からRe-TaiLで常設の素材ショップを開店し、産地の素材を中心に、素材を活用した作品なども展示、販売しています。



常設前のイベント時代のRRR MATERIAL PROJECTの模様



カラフルな糸の海



展示会、アート展なども



ファッションやデザイン関連のテナントが入居



<https://www.instagram.com/yutacafe.kagoya/>

〒494-0002

愛知県一宮市籠屋4丁目11-13

TEL/ 090-8077-5588

営業時間/ 11:30~17:00(LO16:15)

定休日/ 金曜



かつて繊維関連工場として使われていたのこぎり屋根を持つ建物をそのまま利用しているカフェです。



のこぎり屋根工場カフェ ゆたかふえ



古いのこぎり屋根の織機工場を自分たちでリノベーションしたカフェ。看板メニューの「とろとろたまごのオムライス」と、数量限定の「カレーライス」がお勧め！ノスタルジックな雰囲気の中で、素敵なひとときを過ごしてみてはいかがでしょうか。



その他事業も展開中！ぜひご利用ください。



のこぎり二

一宮市内にはのこぎり型の屋根を持つ工場が、2,000棟以上あると言われています。その中で現在では使われなくなった工場を、姿はそのままにアートギャラリーやアトリエ、ショップとして再利用しています。見学はご自由に。御用の方はご連絡ください。



<http://nokogiri2.com/contact.html>

お問い合わせはコチラ

✉ info@nokogiri2.com



MENU



とろとろたまごのオムライス





公益財団法人

一宮地場産業ファッションデザインセンター

尾張西部地域の繊維を中心とした地場産業を総合的に振興する拠点施設として昭和59年2月に誕生しました。主にファッションに関するトレンド情報の収集・提供、新商品開発、人材育成を三本柱に、地産企業の企画力強化に努めています。



〒491-0931 一宮市大和町馬引字南正亀4-1

☎(0586)46-1361

【開館時間】9:00~17:00

【定休日】12月28日~1月4日



一宮市市民会館等施設

一宮市にはホールが3箇所あります。

それぞれの施設には会議室等も備え、さまざまなシーンでご利用いただけます。



一宮市民会館

〒491-0028 一宮市朝日2丁目5番1号

☎(0586)71-2021

【開館時間】9:00~20:00

【休館日】第1・3火曜日、年末年始(12/29~1/3)



一宮市尾西市民会館

〒494-0008 一宮市東五城字大平裏43-1

☎(0586)62-8222

【開館時間】8:30~17:00

【休館日】第1・3火曜日、年末年始(12/29~1/3)



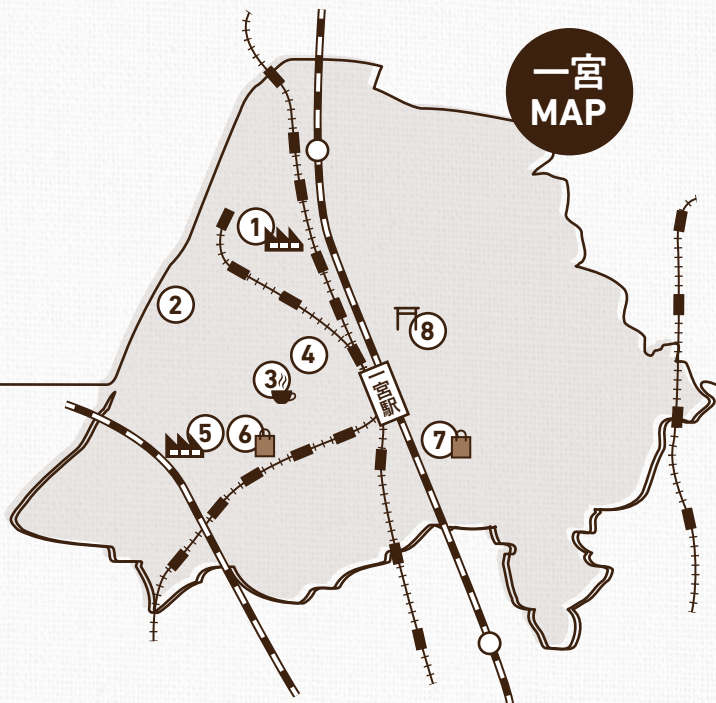
一宮市木曽川文化会館(尾西信金ホール)

〒493-0006 一宮市木曽川町内割田一の通り27

☎(0586)86-7581

【開館時間】8:30~20:00

【休館日】第2・4火曜日、年末年始(12/29~1/3)



一宮
MAP

見学体験する!

① 葛利毛織工業株式会社 (P05)

⑤ 木玉毛織株式会社 (P07)

お買い物する!

⑥ 尾州産地直営の洋服店「新見本工場」(P08)

⑦ Re-TAIL(リテイル) (P09)

見学する!

④ 公益財団法人 一宮地場産業ファッションデザインセンター

参拝する!

② 人柱観音 (P02)

⑧ 真清田神社・服織神社 (P03)

ひと休みする!

③ ゆたかふえ (P11)